

# 高知県内で初めて集落営組織から法人へ 永久的に地域の農地と地域文化を守るために

【類型】 作業受託 + 機械の共同利用 + 水稻野菜

【組織名】 株式会社サンビレッジ四万十（平成26年7月設立）

【所在】 高知県高岡郡四万十町

【構成戸数・人数】 25戸・25人

【従事者数】 オペレーター 6人

【経営規模】

水稻（主食用） 7.8 ha  
水稻（WCS） 1.8 ha  
野菜等其他作物 1.2 ha  
作業受託 育苗 1.6 ha、乾燥 1.3 ha



高知県功労者賞受賞

## 設立の経緯

- 影野地区では、1戸当たりの経営規模が小さく、過疎・高齢化に伴う担い手不足により今後の農地管理に危機感を持っていた。
- 平成9年頃から基盤整備事業の導入を機に、事業完了後の営農を話し合うための「影野の農業を考える会」を平成11年頃立ち上げた。
- 平成13年2月に1集落1農場方式の「ビレッジ影野営農組合」を設立し、平成22年2月に「農事組合法人ビレッジ影野」を設立した。

## 取組の特徴・効果

- 水稻栽培を中心に、ショウガや雨よけピーマン、サトイモ等園芸品目の栽培にも積極的に取り組んでいる。
- 近年は太陽光発電事業を実施している。
- 広域で地域を守る組織で中山間農業複合経営拠点である（一社）四万十農産が平成28年4月に設立され、その構成員として活動の一翼を担っている。

## 【具体的な取組内容】

- 水稻栽培だけでなく、高収益作物（ショウガ、雨よけピーマン）の栽培にも取り組み、平成28年度には新たに2名を雇用するなど、組織自体が地域の担い手となっている。
- 現在ショウガが主な収入源となっているが、病気に対するリスク回避や新たな土地利用型で高収益作物としてサトイモの機械化による栽培にも取り組み始めた。
- 太陽光発電事業も、一部で営農型に取り組み、作物栽培（ショウガ、サトイモ、レタス、ナバナ等）を実施している。

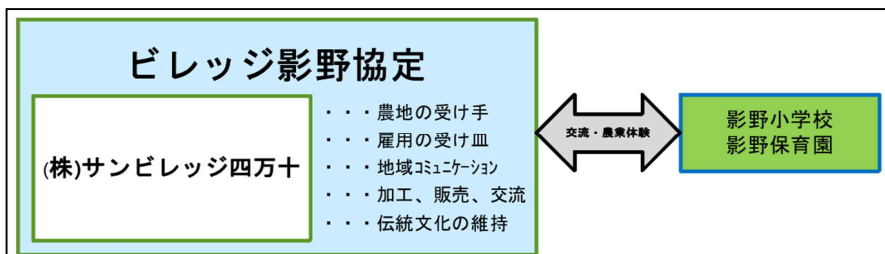


図. 1 組織の概要



図. 2 地域ビジョン

## 【主な機械・施設】

- 格納庫(84㎡) ・育苗施設(504㎡) ・田植機(5条,6条)
- コンバイン(3条,4条) ・トラクター(46ps,55ps) ・乾燥機(30石)
- 粳摺機(4インチ) ・予冷施設(56㎡) ・ハウス(10a,2棟)

## 【課題・今後の取組】

- 営農型太陽光発電の栽培に適した品目を模索している。
- 経常利益の黒字化を目指している。
- 若い担い手が確保できているが、作物栽培の技術を高めていくことが必要。
- 中山間農業複合経営拠点との円滑な連携。